

○ 中学生の作文

【近畿税理士会西支部長賞】

生活を豊かにする税

大阪市立花乃井学校 三年

坂本 栞理

私は、税について学習して、税金の見方が変わりました。前までは、税金を払わなければいけない理由が分からなくて、税金なんていらなそうと思っていました。好きなお菓子を買おうとしたときに、少しだけお金が足りず、そのお菓子を買えなかったり、父や母から、「昔の自動販売機では百円でかえたのになあ。」ということを知り、うらやましく思ったり・・・。「税金のせいだ」と思うことがたくさんありました。

しかし、私は税金のことをちゃんと理解することができていませんでした。今回税について学習して初めて税金が私たちの身の回り、広い範囲で役に立っていることを知りました。警察、消防、学校、公園、道路なども、税金によって提供されています。このことを知ったときは驚きました。もし税金がなくなると、これらのサービス・施設が提供されていなくなると考えると、とてもおそろしいです。どこかで事件が起きても、お金を払わないと警察が動かなかつたり、火事が発生し、消防車が消火してくれてもお金を請求されれば今度は家計が火の車になってしまいます。また、私たちの通っている学校は建設されず、学ぶことができなくなり、道路も信号機もない街では事故が多発します。こんな日本を想像すると本当におそろしいです。税金があるおかげで安全に暮らしているということに感謝しようと思いました。

今年の四月、消費税が五パーセントから八パーセントになりました。私も家族も友達も知り合いの人もテレビも、その時期は消費税のことばかりを話して

いました。周りの人が言うことは、やっぱり増税には反対の、不服の意見でした。私ももちろん反対で、「八パーセントなんてありえない」と思っていました。なぜそんなに必要なのか疑問に思い、使い道について調べてみることにしました。

消費税増税八パーセントによる消費税増収分は八兆一千億円になるそうです。私たちの普段払う消費税が日本全国合わせるとこんなに大きな額になることにびっくりしました。そしてその使い道はというと、年金や医療などの社会保障の安定化と充実のようです。今の年金の制度では、受けとる額よりも支払う額のほうが多く、満足しているのは一割のみだそうです。だから、もっと充実した老後を通り過ぎたり、もっとたくさんさんの病気が治る世の中にするために、不満ばかり言わず、貢献していかないといいなと思いました。

今回税金のことに学んで、税金は私たちの生活を豊かに安全にするものだということが、税金はやっぱりちよつと払うのは嫌だけど、いつか私たちに返ってきて私たちが幸せにしてくれるものだということがわかりました。そして「税金のせいだ」ではなく、「税金のおかげだ」と、考えるようになりました。これからも、税金への感謝の思いを忘れないようにしたいと思います。

らしている人もまだいるでしょう。そういった、被害にあった国民のために税金がつかわれるべきだと思います。オリンピック開催において、震災にあつた人々の心は躍るかもしれませんが、生活的には苦しいままです。おもてなしの精神よりも、今は思いやりの精神が大事なのではないかと思えます。

最後に、増えてばかりの消費税が今後減るのかという疑問についてです。一度増税すれば減税することがないというイメージが強いのですが、この先も増税され続けると困るのは、国民です。いくら税金を国のために使用していると言っても、消費税というのはいくら形でも支払わなければならないので増税の数字と共に国民の不満も大きくなるのです。

今まで減税するところを見たことがないのですが、国は消費税を減らすことを考えないのか、とても疑問に思いました。

国民から税を取るのであれば正しい使い方の方で胸を張って国民のために使ったと言えるようにし、減税のことも考えてほしいと思いました。